

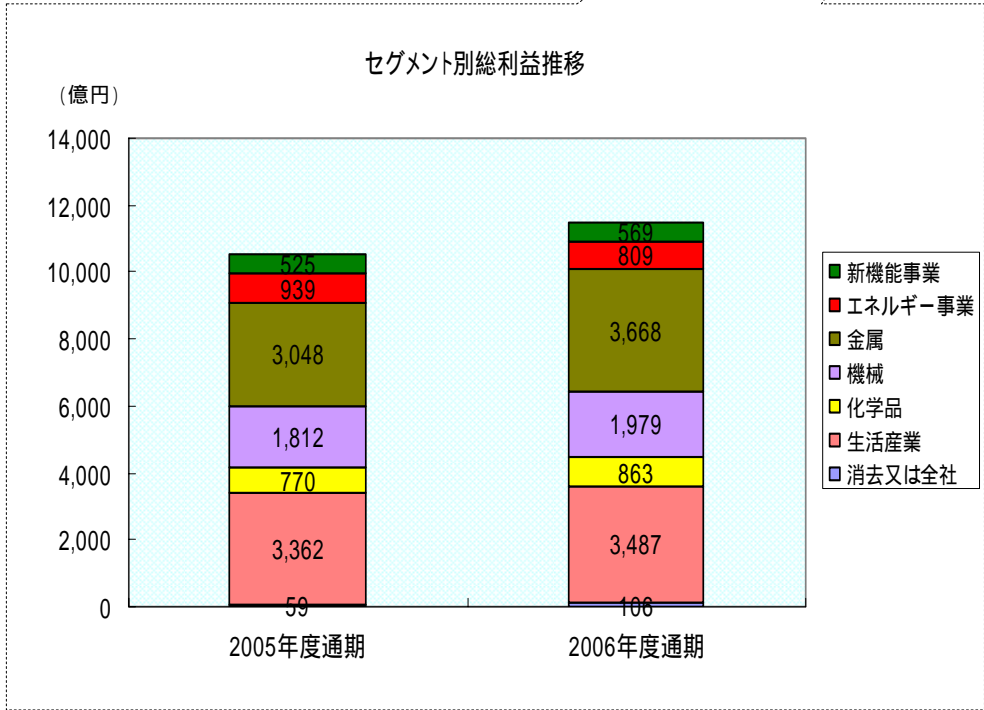
2006年度通期 決算公表参考資料

2007年4月27日

三菱商事株式会社

主要PL項目の前年度比増減

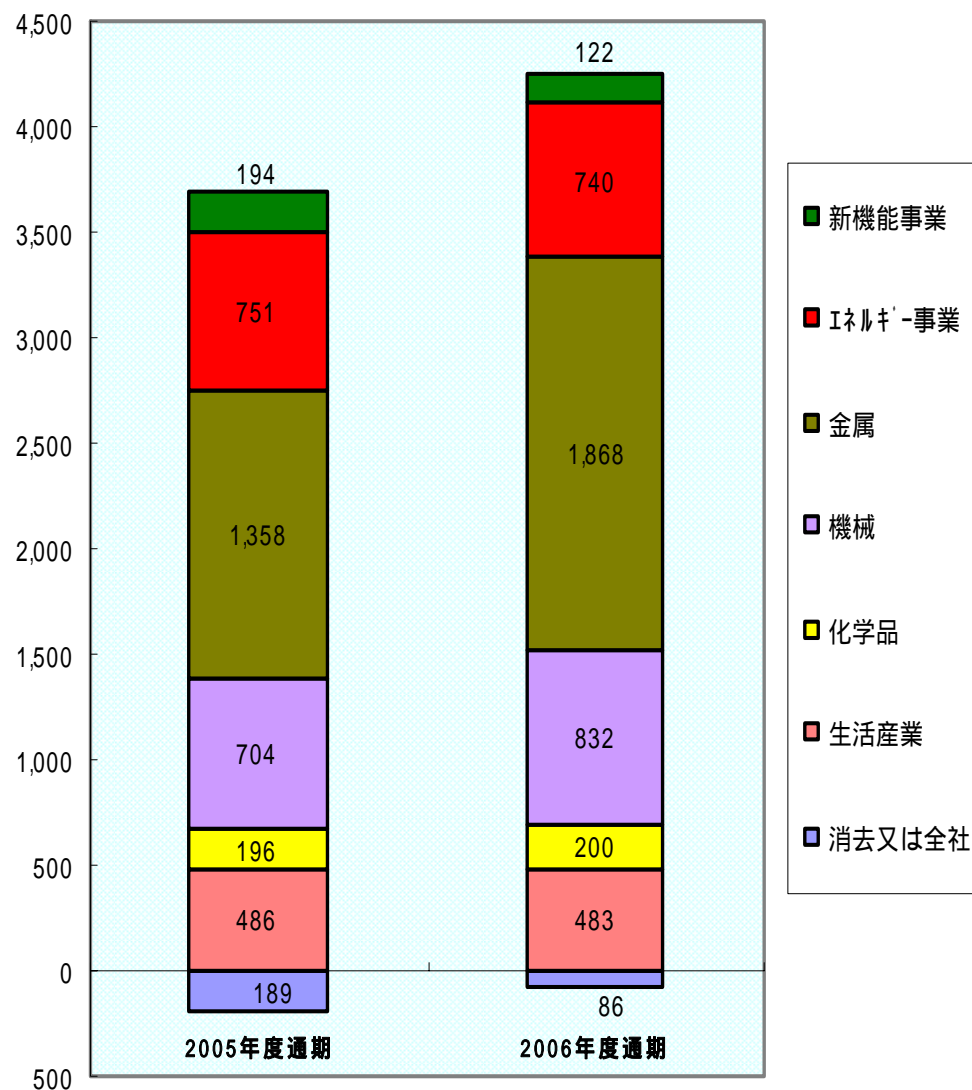
(億円)	2005年度 通期	2006年度 通期	増減	増減率
売上高	190,672	205,163	14,491	8%
売上総利益	10,515	11,481	966	9%
営業利益	3,499	4,121	622	18%
当期純利益	3,500	4,159	659	19%
基礎収益	5,374	6,795	1,421	26%



過去のトラックレコード

- 売上高 … 過去最高
(従来の最高は1990年度の19.7兆円)
- 売上総利益 … 過去最高益
(従来の最高益は前年度の1兆515億円)
- 営業利益 … 過去最高益
(従来の最高益は前年度の3,499億円)
- 当期純利益 … 過去最高益
(従来の最高益は前年度の3,500億円)
- 基礎収益 … 過去最高益
(従来の最高益は前年度の5,374億円)

(億円)

セグメント別
増減理由

新機能事業 (37%減益) … 金融子会社の為替評価損益、及び投資関連収益の減少

エネルギー事業 (1%減益) … 海外資源関連投資先の持分利益が増加したものの、プロジェクト進捗に伴う開発費用増、権益売却益の反動減により減少

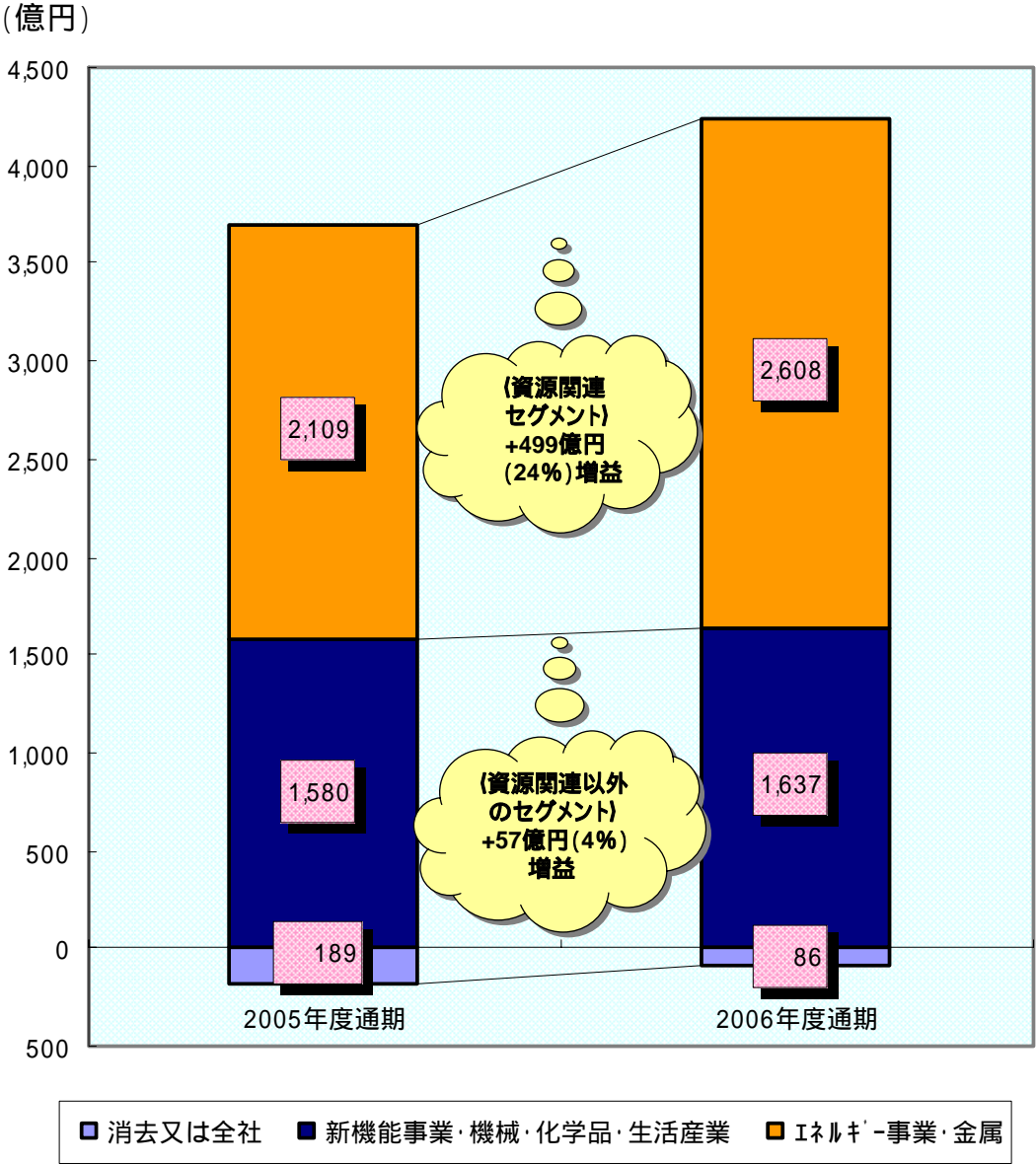
金属 (38%増益) … 非鉄金属市況上昇による海外資源関連投資先の持分利益増及び受取配当金増、販売価格上昇による豪州資源関連子会社の利益増、メタルワン業績堅調による利益増

機械 (18%増益) … 前年度のイラク債権切捨てに伴う税メリットの反動があったものの、ダイヤモンドシティ株式及びいすゞ自動車株式売却益により増加

化学品 (2%増益) … 海外子会社で固定資産の減損処理を行ったものの、親会社での取引好調や海外関連会社の持分利益増などでカバー

生活産業 (1%減益) … 親会社での食料関連取引好調なるも、食料関連子会社での業績悪化等により微減

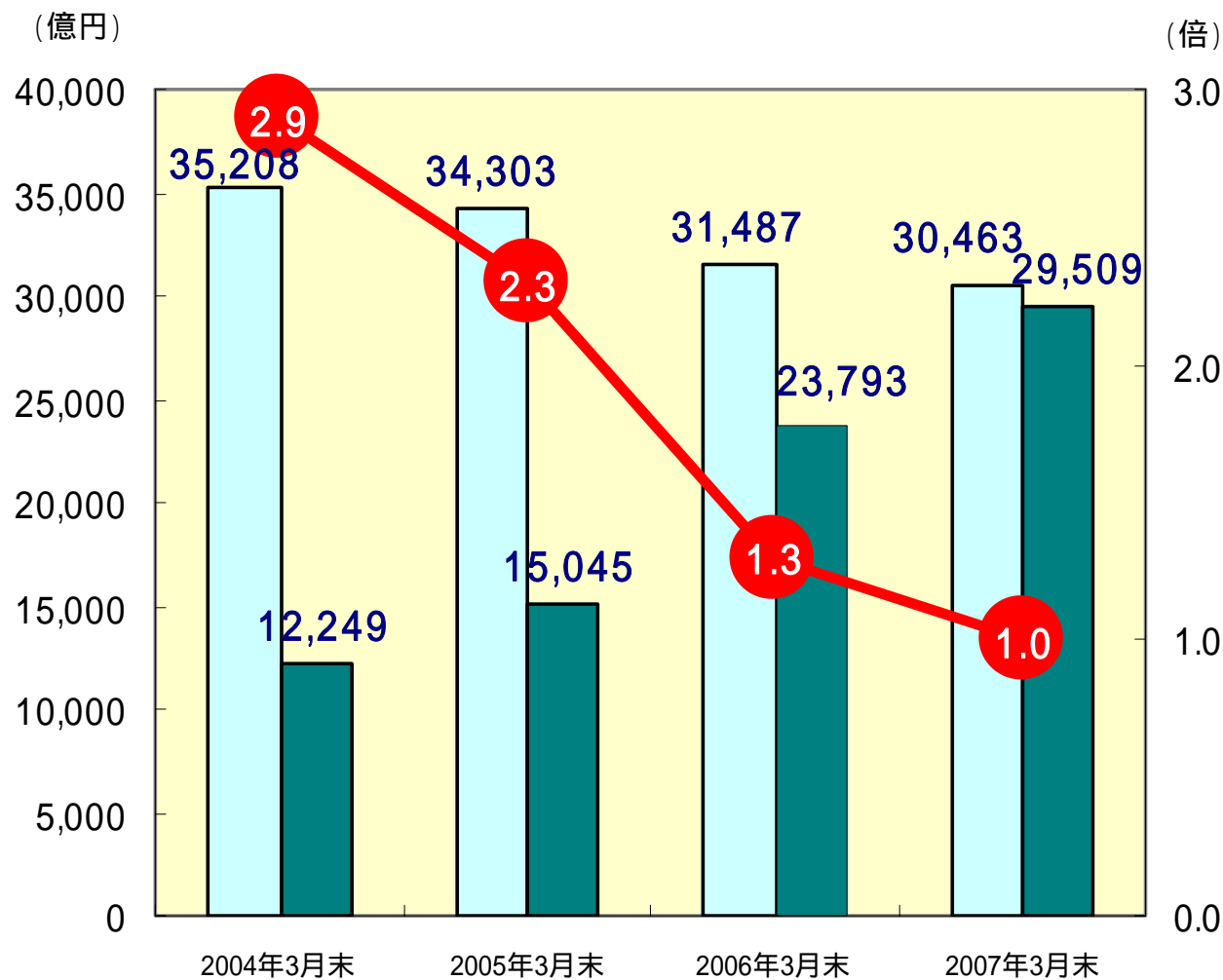
セグメント別当期純利益の前年度比増減



資源価格の推移

	2005年度 通期	2006年度 通期	増減
油価(\$ /BBL) (ドルイ)	53.5	60.9	7.4
銅地金(\$ /MT)	4,097	6,970	2,873
アルミ地金(\$ /MT)	2,029	2,665	636

株主資本と有利子負債の増減



主な株主資本増減要因 (2006年3月末比)

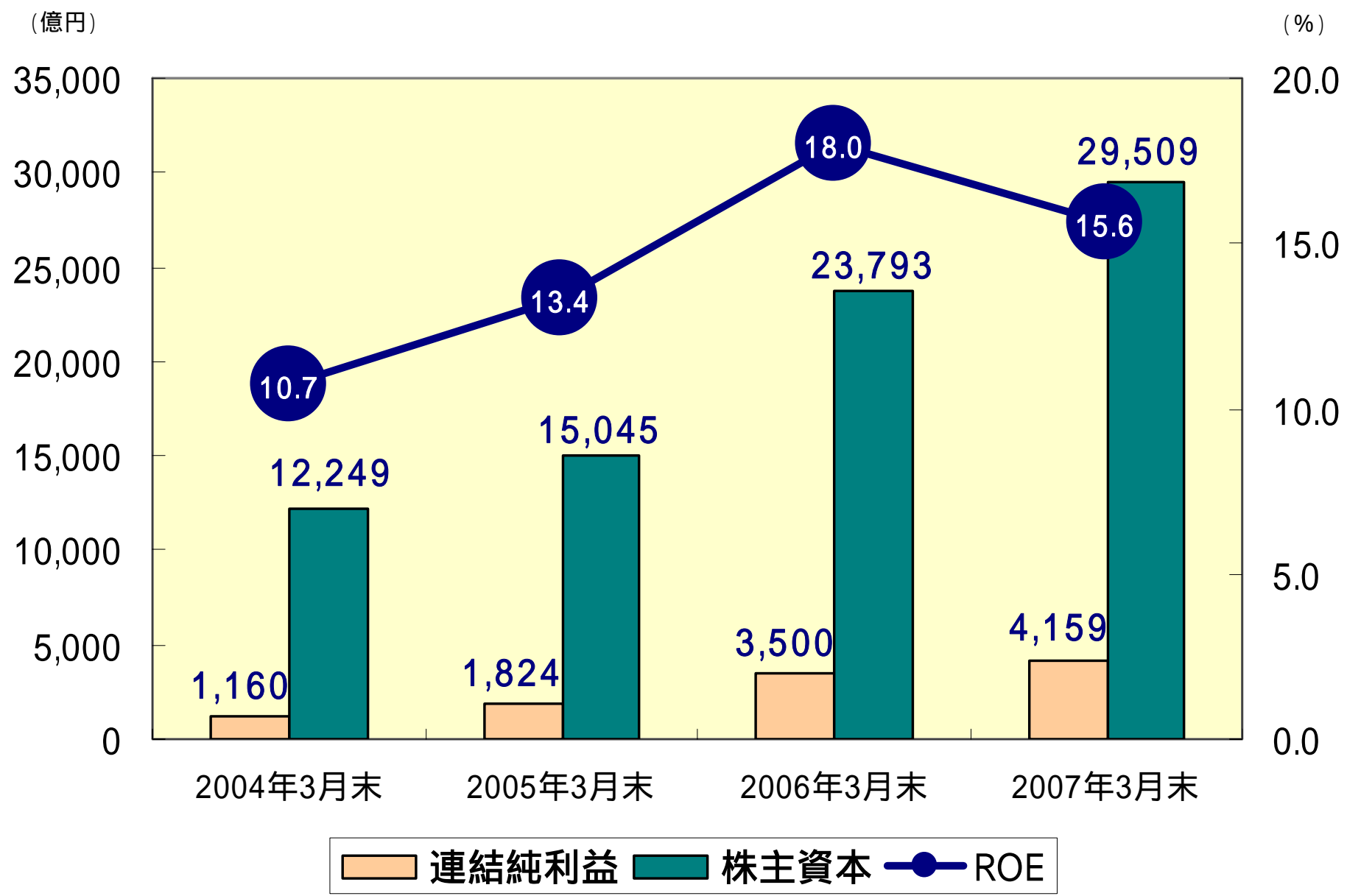
当期純利益の積み上がり
(4,159億円)

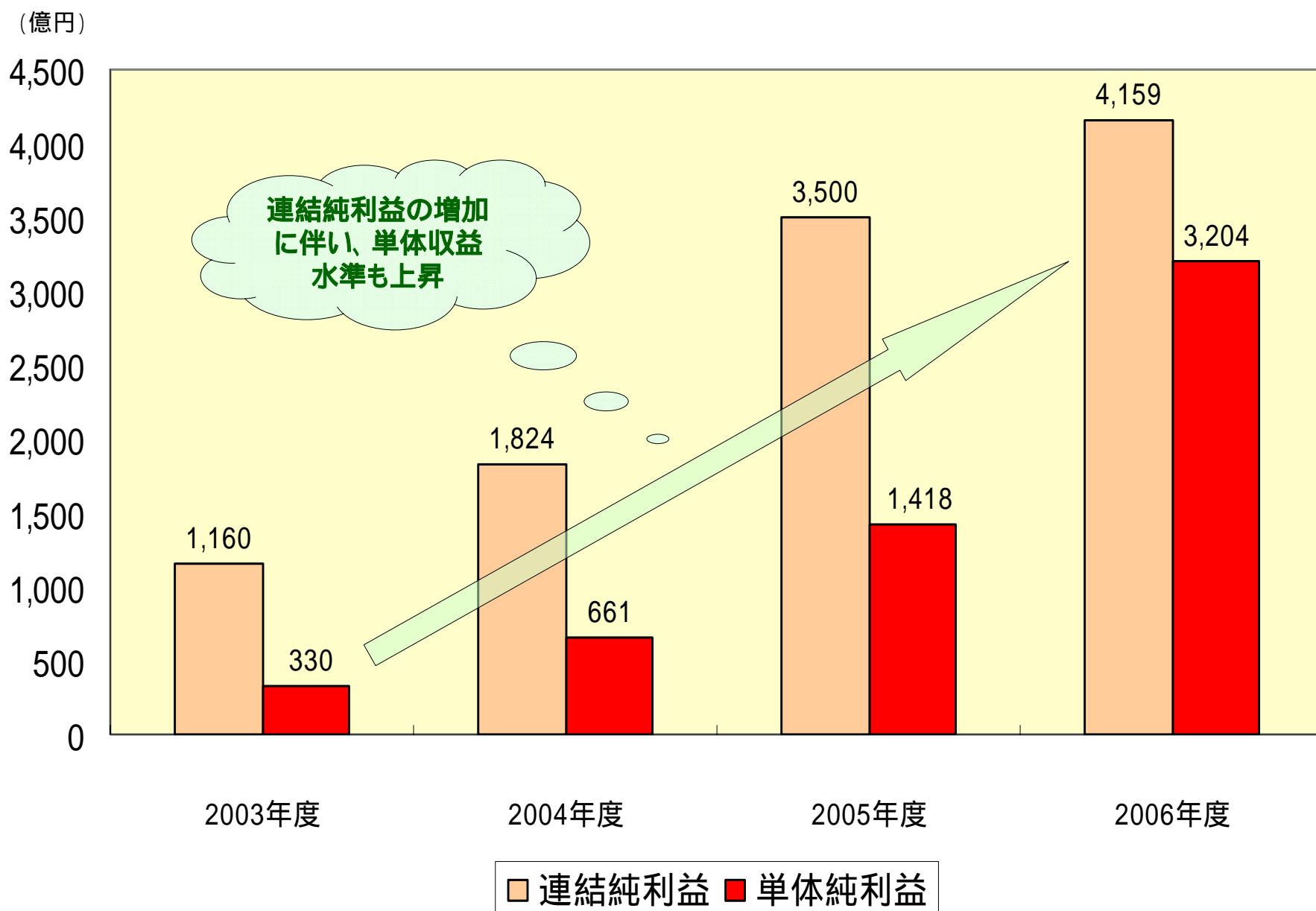
配当金支払
(675億円)

未実現有価証券評価益の増加
(832億円)
… 株価上昇による保有上場株式
の含み益の増加

為替換算調整勘定の改善
(865億円)
… 豪ドル、1-円、泰バーツ等での
円安の影響

有利子負債 (NET) 株主資本 有利子負債倍率 (NET)





通期業績見通し

(億円)	2006年度通期	2007年度通期見通し	前年度比増減	増減率
売上高	205,163	195,000	10,163	-5%
売上総利益	11,481	11,800	319	3%
営業利益	4,121	3,850	271	-7%
当期純利益	4,159	4,000	159	-4%
基礎収益	6,795	6,150	645	-9%

(注意事項)

本資料における業績予想や将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

通期見通しの前提

	2006年度 実績	2007年度 通期見通し	前年度比 増減	連結純利益に対する損益インパクト
為替(YEN/ \$)	117.0	115.0	2.0	1円円安につき年間24億円 の増益インパクト
円金利(%)TIBOR	0.43	0.90	0.47	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相 殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である 場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利(%)LIBOR	5.35	5.40	0.05	
油価(\$ /BBL) (ﾄﾊﾞｲ)	60.9	57.0	3.9	\$ 1上昇につき年間10億円 の増益インパクト
銅地金(\$ /MT)	6,970	6,724	246	\$ 100上昇につき年間8億円 の増益インパクト
アルミ地金(\$ /MT)	2,665	2,700	35	\$ 100上昇につき年間10億円 の増益インパクト